

# 火災報知器を早急に設置せよ

山田町長／町営住宅全戸に設置したい

渡邊

住環境の快適さをアピールしている当町ですが、町営住宅の一部に公共下水道が設置されていないところがあります。これらを改善する考えはありますか。

また、消防法が改正され、全国一律に住宅用火災報知器の設置が義務づけられました。これについては、町負担で早急に設置すべきですが、どう考えていますか。

それから、入居者の一部に管理不備と思われるところが見受けられますが、入居後の管理体制はどのように行い、どのように指導しているのですか。

町長 町では公共下水道の供用開始にともない、町営住宅においても順次公共下水道への接続を行っています。

しかし、昭和32年に建築された火の口団地、昭和40年から41年にかけて建築された広長団地および苗代替団地については、構造が

木造建築であることや、耐用年数の観点から大規模な修繕は行わず、住宅が空きしだい取り壊しています。

今後は、これらの町営住宅に入居している方を対象に、他の町営住宅への移転等に関しての説明会を開催することや、国、県の指導を仰ぎながら新たな受け皿の整備を検討していきたいと考えています。

こうしたことから、公共下水道への未接続の町営住宅については、現段階では改善する計画はありませんので、ご理解をいただきます。

また、住宅用火災報知器の設置につきましては、平成20年度一般会計当初予算に費用を計上し、町営住宅全戸に設置したいと考えています。

また、町営住宅入居後の管理体制につきましては、公営住宅法および公営住宅管理条例等に基づき

事務を執行しておりますが、様々なトラブルや苦情が寄せられていることも事実ですので、そのつど適切な指導等を行って参ります。



渡邊 正俊 議員



町営住宅「浜田団地」(下北迫)

# 「奥州日の出の松」を再生せよ

山田町長／日の出の松からの接ぎ木に成功している



塩 史子 議員

塩 「日の出の松」は枯れてしまいましたが、江戸の昔より、奥州浜街道に「日の出の松」ありとして人々に親しまれ、現在に至ります。

「奥州日の出の松」の名を後世に継承するためにも、2代目「奥州日の出の松」を再生すべきではありませんか。

町長 倒木となる以前、現在の福島県林業研究センターが古木を残す方法を研究しており、「日の出の松」もその対象として「日の出の松」から採取した枝を接ぎ木して育てることに成功し、その松が現在、町内に20本ほど仮植されています。

これを元の場所に移植し、次世代の「日の出の松」として育てて行きたいと考えています。



「奥州日の出の松」跡地(浅見川河口付近)

# 幼保一元化を急げ

山田町長／幼稚園と保育所の柔軟な運営を図りたい

塩 他市町の幼稚園に就園している児童数は何人ですか。

幼保一元化あるいは一体化については、平成18年度に国の動向を見て検討したいという答弁がありました。子育て支援の一環として、幼児教育施設的环境整備は重要なのではないですか。

町長 他の市町に就園している児童数は27人です。

近年は、少子化により幼稚園・保育所をめぐる状況が変化しつつあり、さらには働く母親の増加や肩代わり支援から育成支援への変換を求められており、子育てに不安を抱く保護者への積極的な子育て支援が必要であることは十分に承知しています。

今後は、各施設の状態を勘案し、幼児教育充実のため幼稚園と保育所の柔軟な運営を図りたいと考えています。

# 中学生海外派遣事業を早期に再開すべし

山田町長／教育現場の実態をとらえて考えたい

塩 町長は中学生海外派遣事業の再開を選挙公約に掲げて当選しました。

就任後2年が経過しようとしている中で、中学生海外派遣事業はいつから再開するのですか。また、派遣先の選定および調査はどの程度進んでいるのですか。

町長 私が公約に掲げた従来の方法での中学生海外教育交流派遣事業は、学校における教育課程を考慮しても物理的に困難な状況に変わって参りました。しかし、異文化体験や語学学習は必要なので、教育現場での実態をとらえた上で方向性を見出したいと考えています。